

30年前の1985年KUACマサコン峰遠征隊を振り返るとともに

2015年KUACブータン・トレッキング隊の報告を聞く会

日時：2015年10月10日（土）

場所：京都大学稲盛財団記念館 3階大会議室

報告会 16:30～18:00（司会：伊藤 宏範）

開会の挨拶（堀 了平）

京大とブータンの歴史（栗田 靖之） p.1-3

1985年マサコン峰の登攀（月原 敏博） p.4-7

2015年トレッキング報告（六車 光貴） p.8-10

閉会の挨拶（幸島 司郎）

懇親会 18:00～20:00



京都大学山岳部

KUAC
京都大学山岳部
Kyoto University Alpine Club

ブータンと京都大学

報告：栗田靖之

ブータンと日本の接触

1957年 本多勝一（京大探検部 OB 朝日新聞社）がカルカッタ支局からの情報として、ブータン、ケサン・ワンチュック王妃一行が来日を通報

11月 桑原武夫（人文研）、芦田譲治（理学部）が接待

中尾佐助氏のブータン訪問

1958年5～11月 中尾佐助氏（大阪府立大）6か月にわたってブータン訪問

1959年 チベット動乱 ダライ・ラマ 14世がインドに逃れる

1964年4月 ジグメ・ドルジ首相がプンツォリンで暗殺される

中尾佐助氏の大阪府立大学農学部での教え子、西岡京治・里子夫妻 コロンボ・プラン農業専門家としてブータン滞在

ブータンの対外的立場

1949年 「インド・ブータン条約」締結

インドはブータンの内政に関しては干渉しない 外交に関してはインドの助言と指導に従う インド政府はブータン王国に年間50万ルピーを援助する

京大山岳部、最初のブータン調査隊を送る

1968 小野寺幸之進教授（農学部 山岳部長）、上田豊、市川光雄がブータン訪問（1月と6月に一週間づつ入国）長期滞在は許されず

京大山岳部、学術調査隊を組織

1969年 京都大学ブータン学術調査隊派遣

総裁：桑原武夫 秘書役：笹谷哲也

隊長：松尾稔 副隊長：吉野熙道 隊員：松田隆夫 山本清司 米本昌平 田中達吉

ブータンを西から東に横断して学術調査を行いたいと計画する

当時のブータン入国事情

当時インドでは、国境であるアウターラインの手前にインナーラインを設定していた 内陸国ブータンに陸路入国するには、ブータン政府からの招待状と、インド政府からのインナーライン通過許可書が必要であった

松尾隊入国交渉の過程

1969年1月24日 前年に申請した京大松尾隊の調査計画をブータン政府は「許可しない」と通報してきた

ケサン王妃の再来訪

1969年2月ケサン・ワンチュック王妃一行が第2回目訪日。桑原、芦田両教授、松尾稔助教授、笹谷哲也氏、西岡里子夫人が接待にあたる

桑原、松尾が京都大学のブータン調査を要請する

王妃から「私の客人として、ブータンに招待する」という言葉を得る

調査隊の動き

1969年8月4日 吉野熙道、関係筋に働きかけるためニューデリーに出発

9月13日、駐インド宇山大使から「インドの許可が取れそうもない。京大に伝えよ」との公電がくる

9月16日 桑原武夫、松尾稔がニューデリーに向かう。インド政府は「松尾以下5名には、インナーライン通過許可書を出せない」と通報。以後40日にわたる交渉が始まる

桑原、笹谷両氏ブータン訪問

9月24日 ブータン王妃からニューデリー滞在中の桑原、笹谷を1週間ブータンに招待すると通報があった

9月29日 桑原、笹谷ブータン入国。ブータン王妃に対して、松尾隊にインナーライン通過許可書を発給するよう、インド政府に働きかけて欲しいと要請した

10月7日 桑原、笹谷 カルカッタ帰着

松尾隊にインナーライン通過許可書発給

10月17日 インド外務省、松尾隊にインナーライン通過許可書の発給を約束する

10月28日 松尾稔隊長以下6名ブータン入国

松尾隊の活動

第3代ジグミ・ドルジ国王に拝謁 パロに2週間滞在

11月14日～12月4日 ティンパーを出発 ワンディポダンからタシガンまで21日間の徒歩旅行

松尾隊の帰路

タシガンからはサムドップジョンカルまで行き、ブータン国境の南、インド・アッサム地方を自動車で通過、プンツォリンに向かう。当時このことは伏せられていた

ブータンへ滞在・入国の難しさ

12月17日、松尾以下4名がブータン出国

1か月後、吉野、山本は長期滞在を許されず出国

1970年、栗田が、1971年には西山が夫妻でブータンに入国

1971年7月 谷泰、河合明宣両氏はブータン入国を試み、53日間の交渉を行ったが、ブータン政府からの許可が得られず断念

『ブータン横断紀行』（1978 講談社）刊行

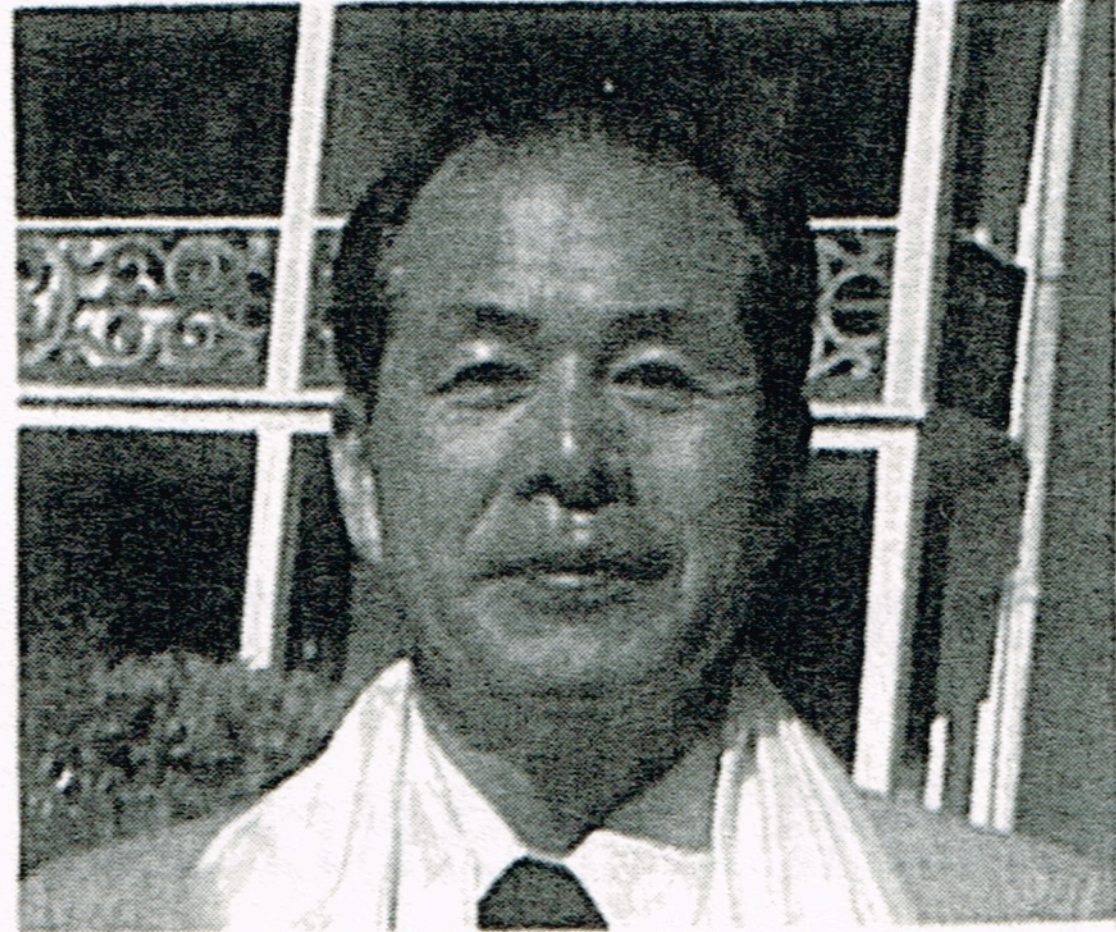
本隊帰国後9年後に出版 谷泰氏が編集

日本ブータン友好協会の設立

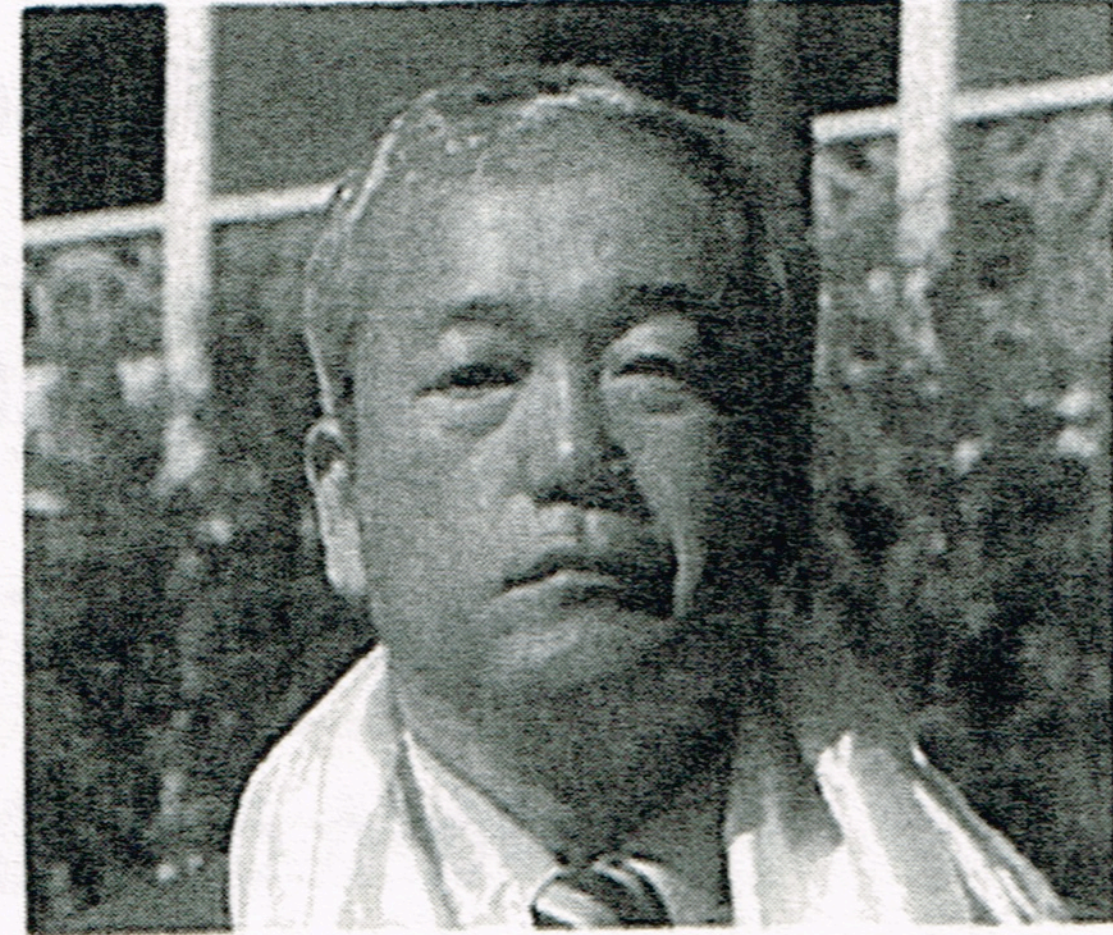
1981年 日本ブータン友好協会の設立 初代会長 桑原武夫

第一回ブータン友好協会親善訪問団 桑原武夫、西堀栄三郎、中尾佐助、佐々木高

隊員名簿 Personnel



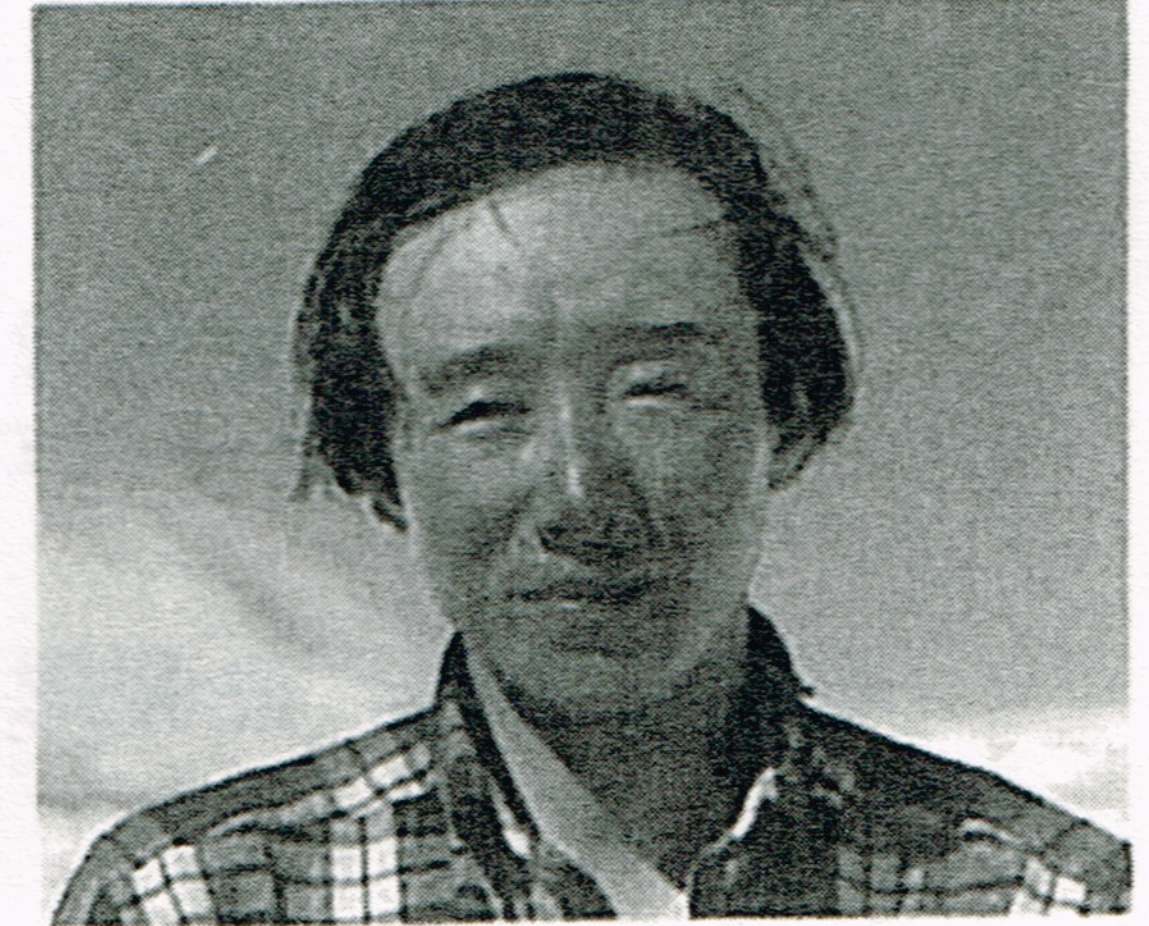
隊長
堀 了平 (56歳)
京都大学医学部教授
付属病院薬剤部長、薬学博士
Leader
Ryohei Hori
Professor and Director of
Department of Pharmacy of
Kyoto University Hospital



副隊長
栗田 靖之 (46歳)
国立民族学博物館助教授
第2研究部南アジア(インド・
ブータン)担当
Deputy Leader
Yasuyuki Kurita
Assistant Professor of National
Museum of Ethnology



登攀隊長
横山 宏太郎 (38歳)
武庫川女子大学家政学部講師
Climbing Leader
Kotaro Yokoyama
Lecturer of Mukogawa
Women's University



医師
松林 公蔵 (35歳)
京都大学医学部付属病院医師
Doctor
Kozo Matsubayashi
Doctor of Kyoto University
Hospital



事務局長
人見 五郎 (29歳)
京都大学大学院農学研究科(農
林経済学専攻)
Chief Secretary
Goro Hitomi
Graduate Student of Kyoto
University



隊員
福崎 賢治 (35歳)
京都府立亀岡高等学校教諭
Member
Kenji Fukuzaki
Teacher of Kameoka High
School



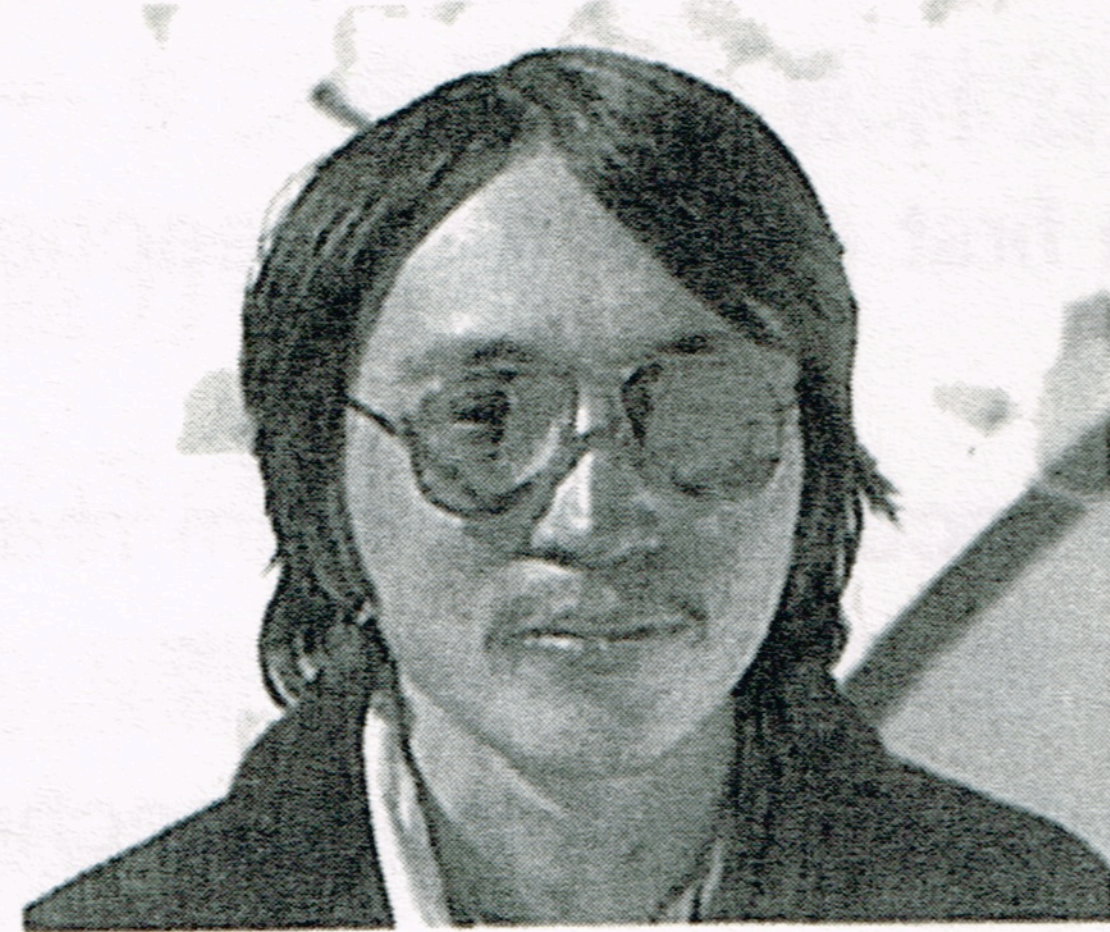
隊員
神園 泰比古 (35歳)
ダックエンジニアリング株式会社
Member
Yasuhiko Kamizono
Engineer of DAC Engineering
Ltd.



隊員
青木 小太郎 (27歳)
日立製作所
Member
Kotaro Aoki
Engineer of HITACHI Ltd.



隊員
伊藤 宏範 (27歳)
無職
Member
Hironori Ito
No occupation



隊員
竹田 晋也 (24歳)
京都大学大学院農学研究科(熱
帯農学専攻)
Member
Shinya Takeda
Graduate Student of Kyoto
University



隊員
中山 茂樹 (23歳)
京都大学大学院農学研究科(林
学専攻)
Member
Shigeki Nakayama
Graduate Student of Kyoto
University



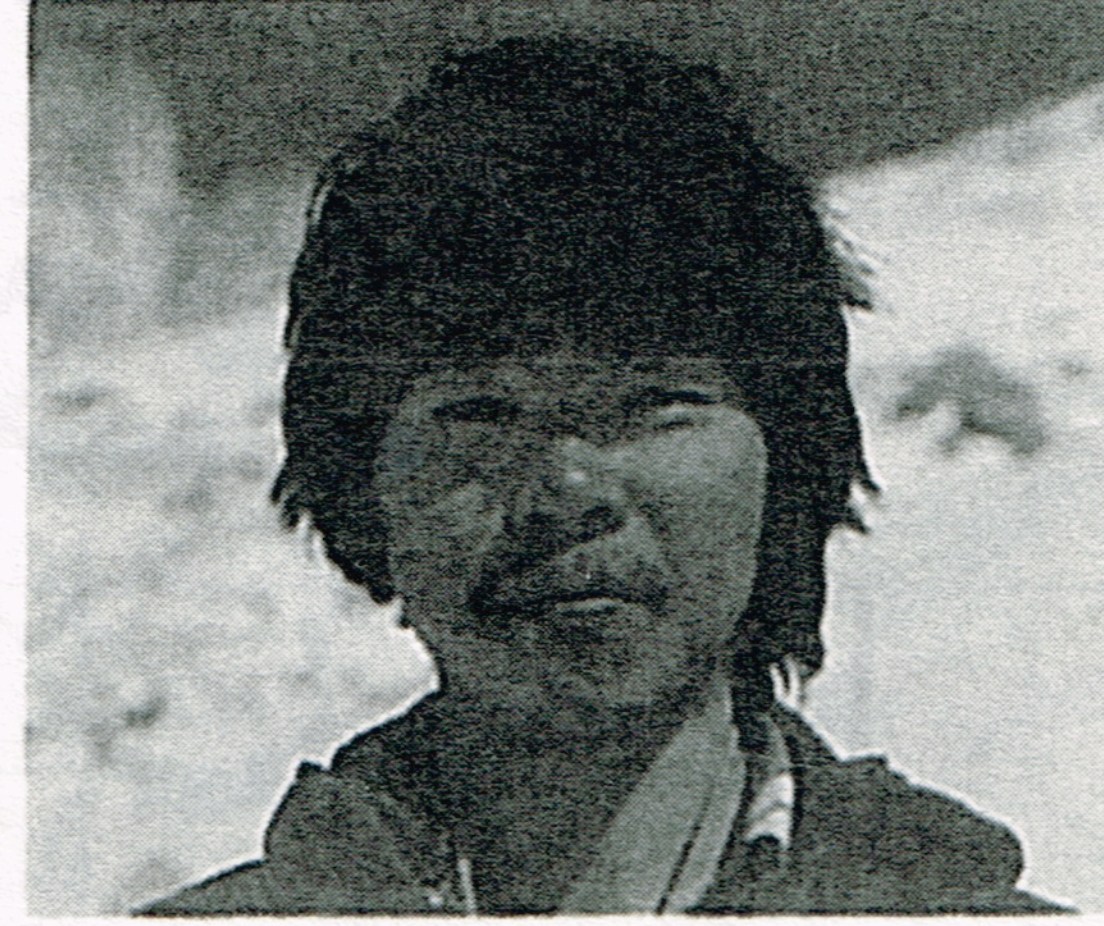
隊員
高井 正成 (23歳)
京都大学理学部学生(地質学鉱
物学専攻)
Member
Masanaru Takai
Student of Kyoto University



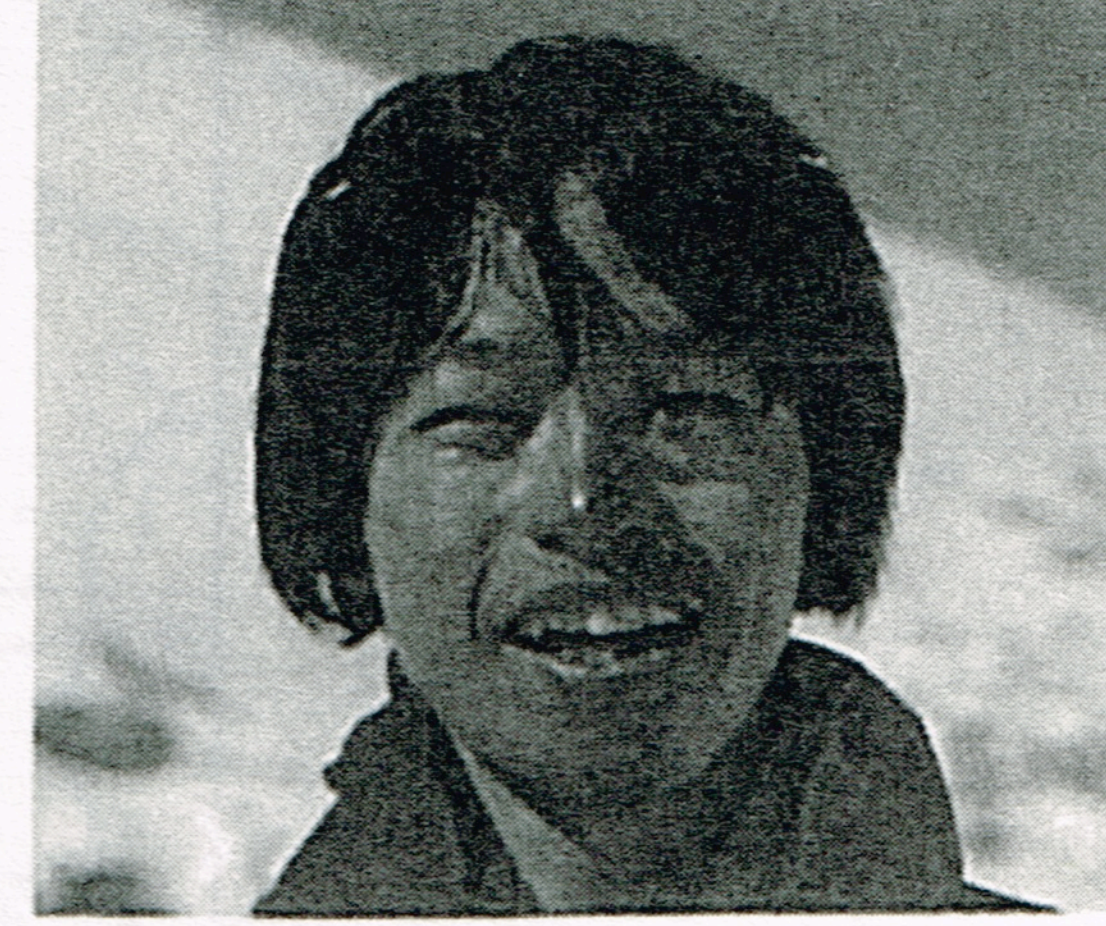
隊員
月原敏博 (23歳)
 京都大学文学部学生 (人文地理学専攻)
 Member
Toshihiro Tsukihara
 Student of Kyoto University



隊員
岡田忠雄 (21歳)
 京都大学工学部学生 (建築学専攻)
 Member
Tadao Okada
 Student of Kyoto University



隊員
菅野公一 (21歳)
 京都大学工学部学生 (高分子化学専攻)
 Member
Koichi Kanno
 Student of Kyoto University



隊員
毛利尚樹 (21歳)
 京都大学農学部学生 (畜産学専攻)
 Member
Naoki Mori
 Student of Kyoto University



テレビ・ディレクター
安岡卓治 (31歳)
 TV Director
Takaharu Yasuoka



テレビ・カメラマン
中里雅行 (29歳)
 日本ビデオ株式会社
 TV Cameraman
Masayuki Nakazato
 Nihon Video Inc.



ガイド、クライマー
カルマ・ドルジ
 Guide, Climber
Karma Dorji



オーガナイザー
イシ・ウオンチュック
 Organizer
Yeshey Wangchuck



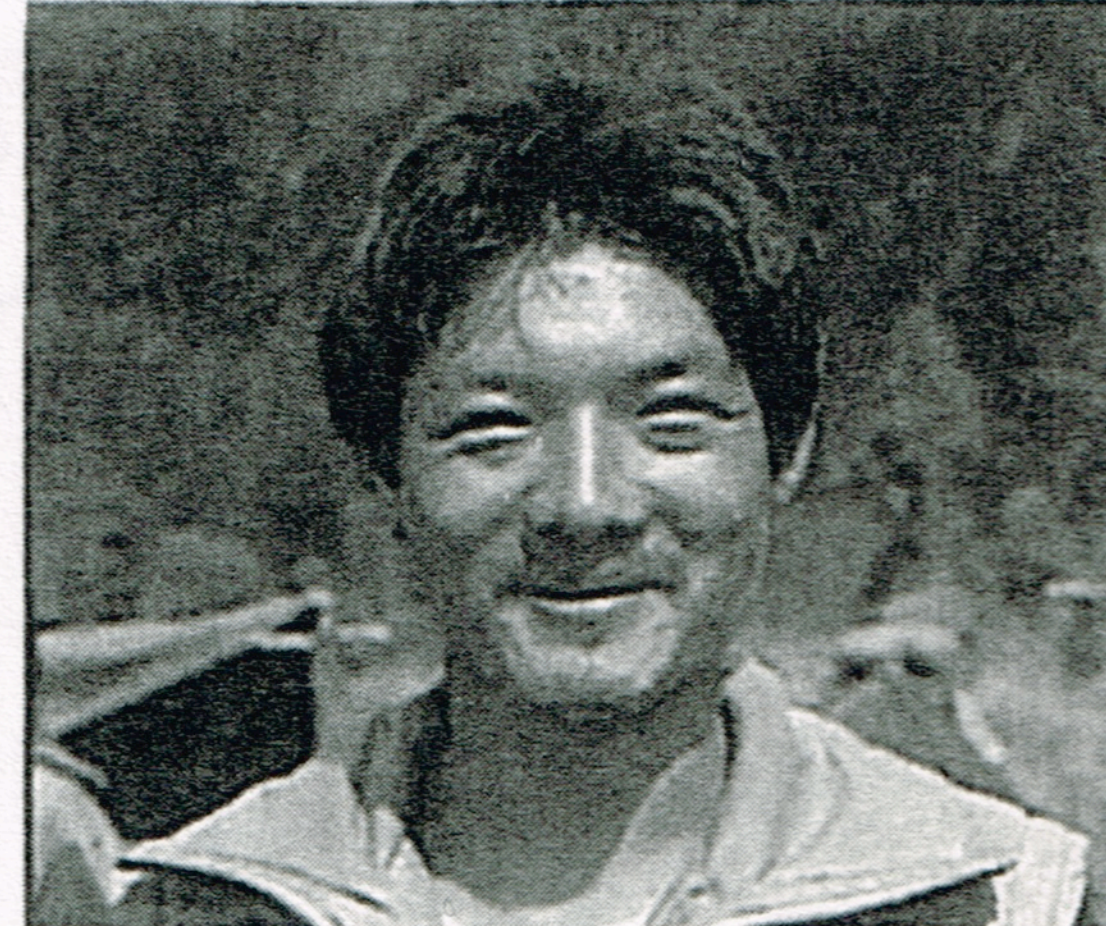
コック
プンツオ
 Cook
Puntso



ウェイター
カルマ
 Waiter
Karma

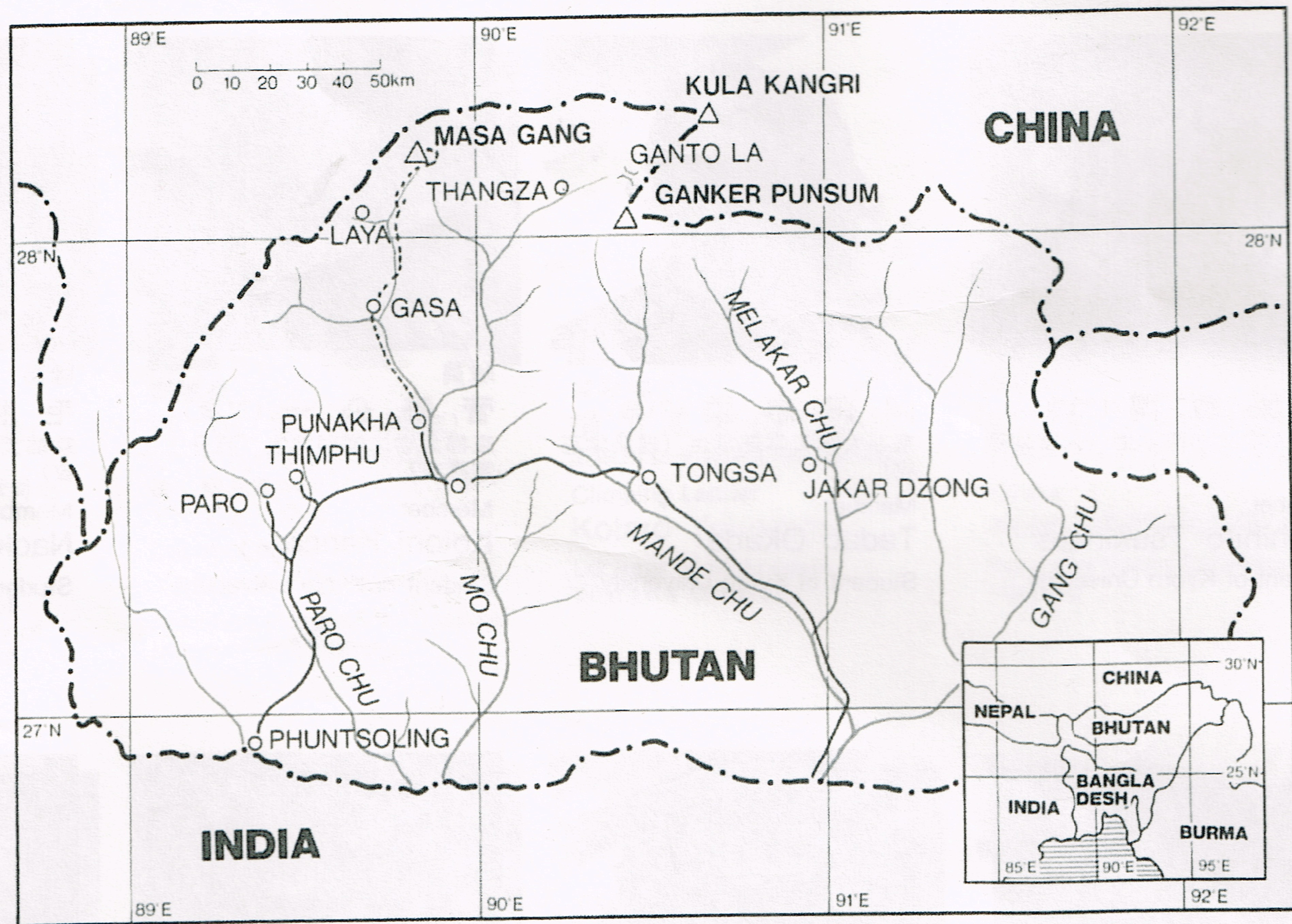


ウェイター
アペ
 Waiter
Apey

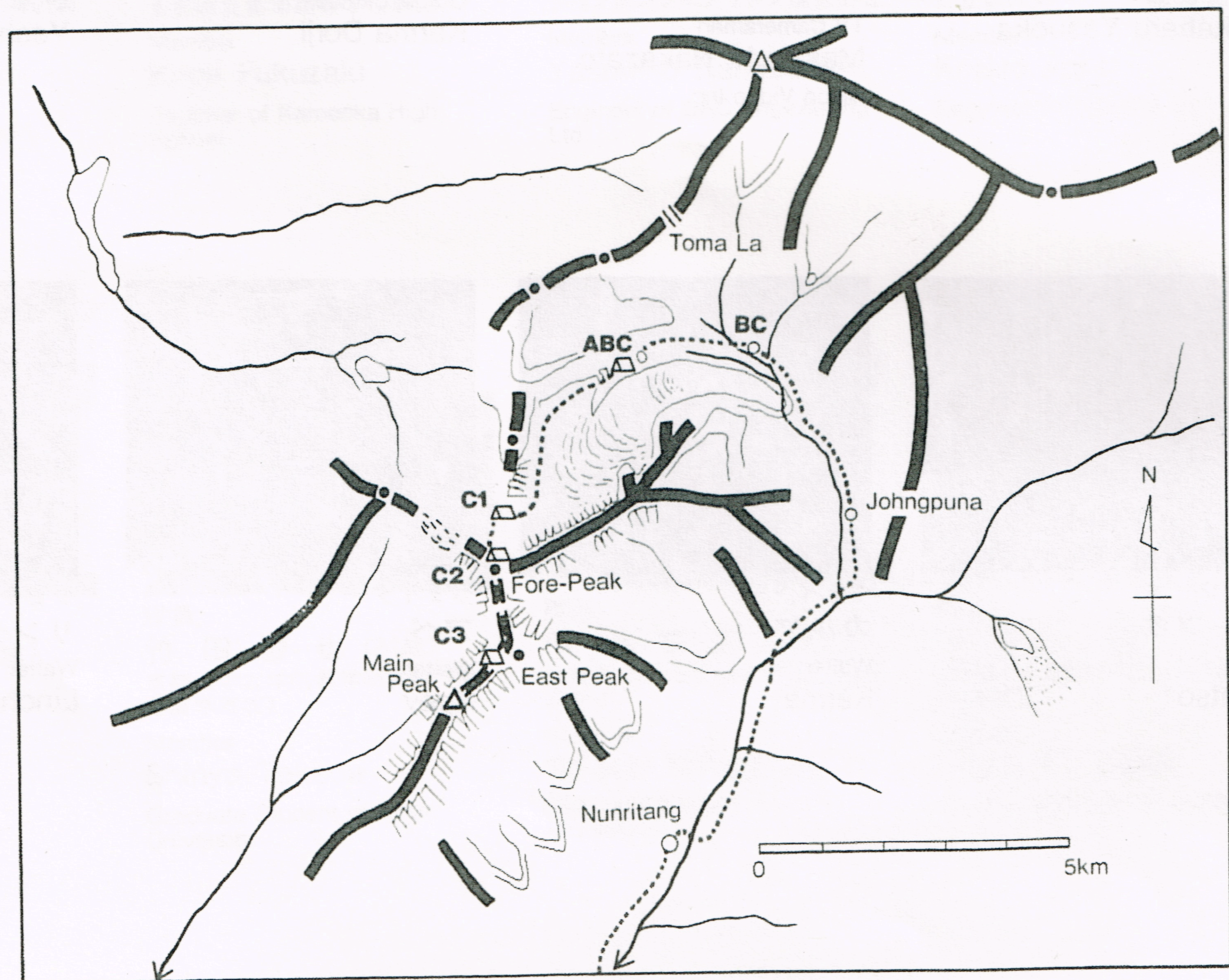


ウェイター
リンチェン
 Waiter
Linchen

ブータン全図 Map of BHUTAN



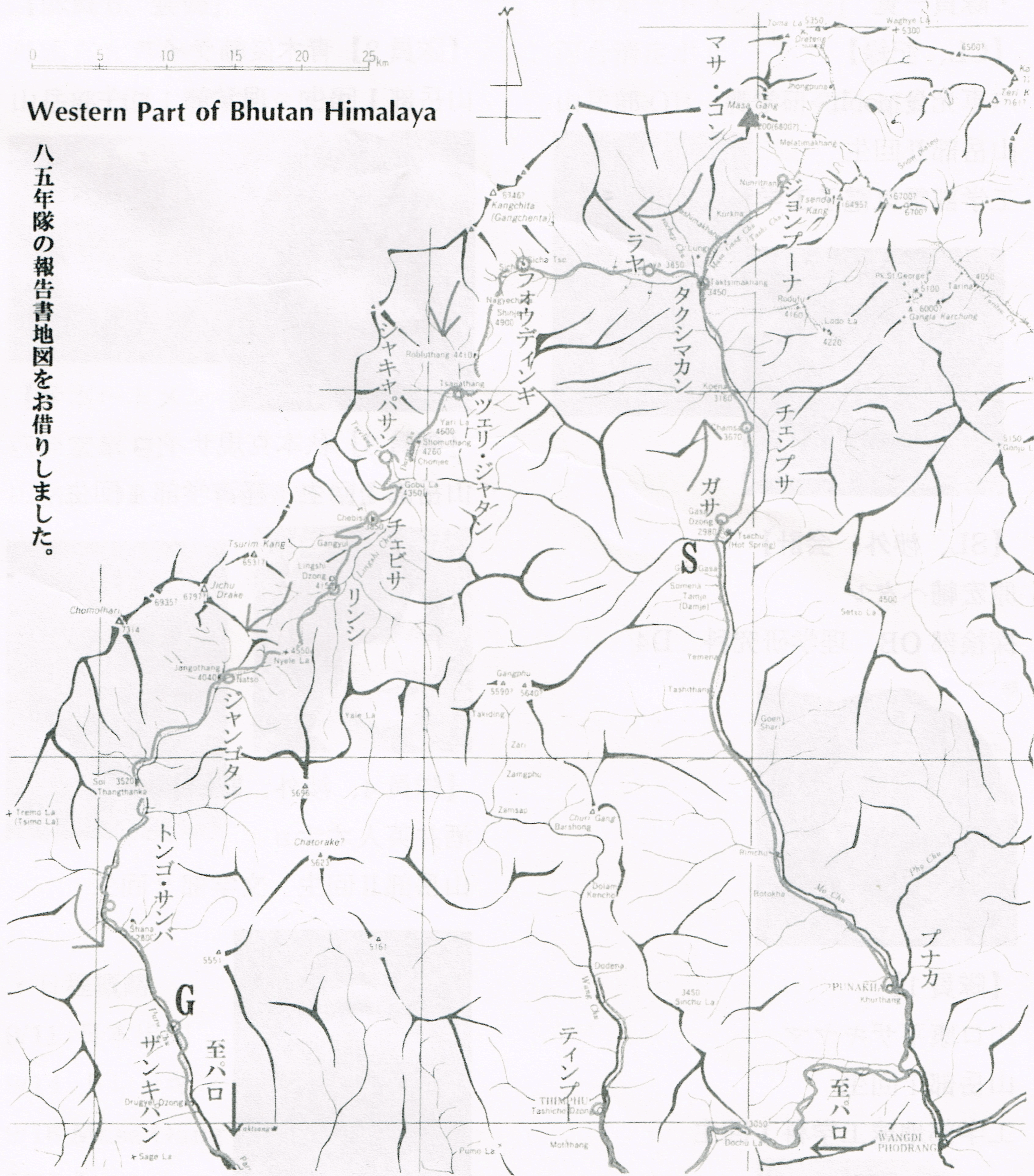
地形概念図 Route Map





Western Part of Bhutan Himalaya

八五年隊の報告書地図をお借りしました。



・ 隊員一覧

【CL、記録】

六車光貴 pooh

山岳部Ⅱ回生

工学部電気電子工学科 2回生



【SL、渉外、会計】

原宏輔ヘタレ

探検部 OB 理学研究科 D4



【隊員 1】

川口康平ザキヤマ

山岳部Ⅰ回生

工学部地球工学科 1回生



【隊員 2】 青木俊輔ライス

山岳部Ⅰ回生 理学部 1回生



【隊員 3】 秋本克規サイコ

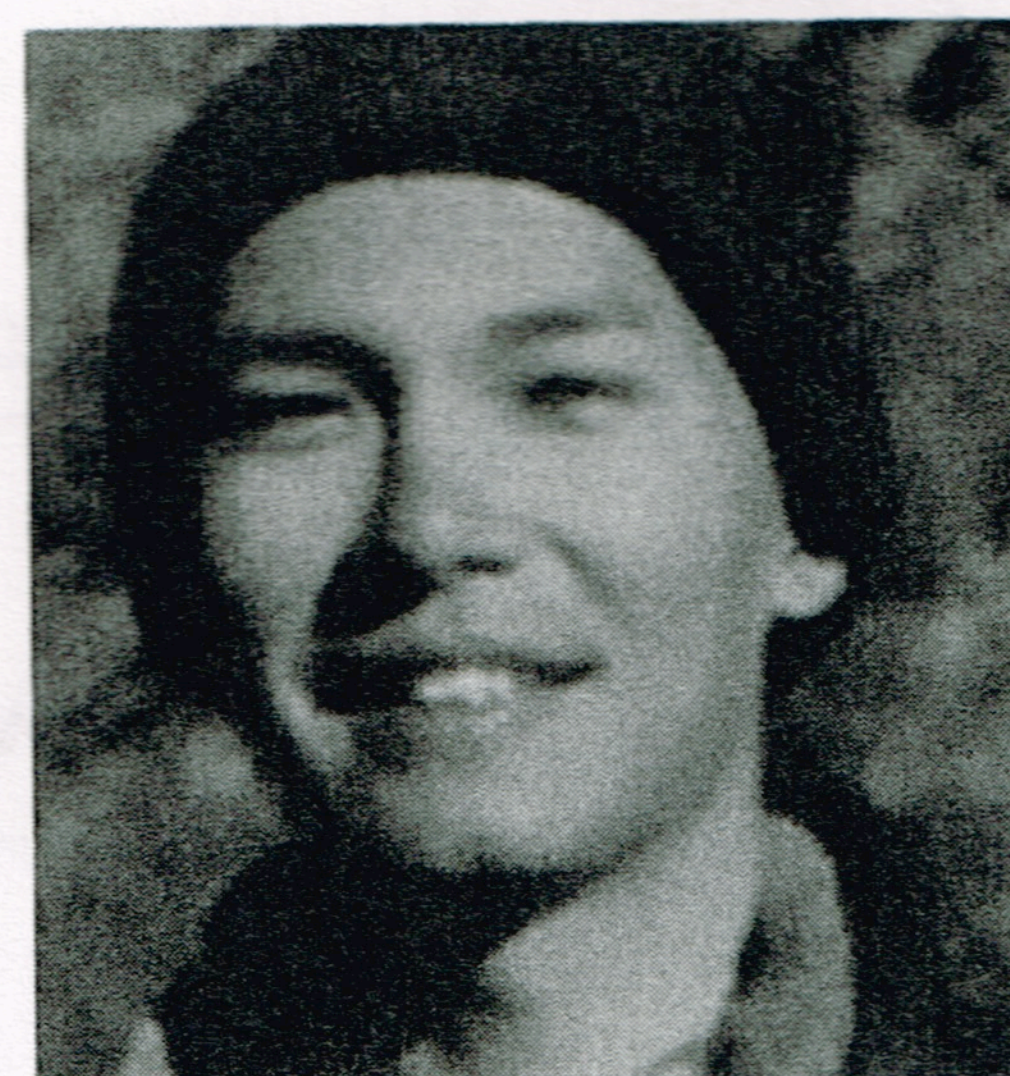
山岳部Ⅰ回生 経済学部 1回生



【隊員 4、渉外、記録】

酒井英人オチョ

山岳部Ⅱ回生 文学部 2回生



【隊員 5、医療】 山下耕ヤブ

探検部Ⅲ回生 総合人間学部 3回生



【隊員 6、装備】

外園喜大 コンチャ

山岳部 OB 理学部 6 回生



【サポートメンバー1】

荻原宏章 QN

山岳部 OB 文学研究科 M2



【サポートメンバー2】

河合清定 ポリ

山岳部 OB 農学研究科 M2



・ 日程概略

9/11 日本出国

9/14 トレッキング開始

9/16 Masa Gang First Base Camp

9/26 Jangothang(Jhomolhari BC)

9/29 トレッキング終了

10/6 日本帰国

トレッキング期間：16 日間

総トレッキング距離：約 200km

最高到達点：Sinche La 5000m